

# エドガー・モロー インタビュー



©Julien Mignot

● 4歳でチェロを始めたそうですが、きっかけは何ですか？

3歳半くらいの頃、知り合いだった年上の女の子のチェロ・レッスンを見学する機会がありました。その時、何故か分かりませんが、とにかくチェロという楽器にとっても惹かれてしまったのです。そして父から先生へ電話してもらい、レッスンを受けることになりました。

● これまでに影響を受けた音楽家や経験はありますか？

まず、初めてチェロを教わった先生。制限せずに何でも弾かせてもらい、可能性を広げていただきました。そしてもちろんパリの音楽院で師事したミュレル先生にも大きな影響を受けました。

演奏活動を始めてからは指揮者のゲルギエフ、ルノー・カピュノンやニコラ・アンゲリッシュをはじめとする多くの先輩たちから、プログラムについて、舞台上でのことについて等々、色々なことを教えていただきました。

● 好きな作曲家はいますか？

常に、いま演奏している作品を書いた作曲家でしょうか。

● 今回のプログラムについて教えてください。いろいろな作曲家の作品を演奏されますが、その選曲理由は？

今回のプログラムには、レストランのメニューのように、バラエティに富んだ数々の作品が並んでいます。これらの作品の多くは僕たちのアルバム「プレイ」に収められているのですが、このアルバムに入れる曲を決める時、僕たちはチェロのための作品かどうかにとらわれず、とにかく「弾きたい！」と思う曲目を選びました。これらの作品には作曲家それぞれのメッセージやアイデアが込められていて、何度演奏しても決して飽きることはありません。

● ピアニストのピエールさんとの出会いはいつ頃で、どうやって知り合ったのですか？

今から9年前、音楽院の学生だった頃に演奏会への出演依頼をいただきました。

その頃はまだ決まったピアニストがいなかったので探していたところ、周囲の人に「良いピアニストがいるよ」とピエール＝イヴを紹介されたのです。

以来彼とは150回以上共に演奏していますよ。

● モローさんが思うピエールさんの魅力を教えてください。

彼と弾くときは、“考える”必要が全くなく、まさにあうんの呼吸で演奏できます。

彼は共演相手を良く聴いて、次にどう来るかを瞬時に予測する。見事にフィーリングをつかむことができるピアニストです。

● 普段どんなジャンルを聴いていますか？

なんでも聴きます！

● 来日前は、日本にどんな印象を持っていましたか？また、実際に来日してみて驚いたことなどがあれば教えてください。

先輩たちから、日本がとても素晴らしい国だという評判を聞いていましたが、実際に美しい国ですね。

それから、コンサートホールの音響も良く、お客様が集中して演奏を聴いて下さり、反応も素晴らしいです。

● 今、夢中になっていることはありますか？

連続テレビ・ドラマ。それからビデオ・ゲームも楽しんでいます。

● 2月のリサイタルを楽しみにしているお客様にメッセージをお願いします。

お招きいただき光栄です。岡崎の皆様との出会いがとても楽しみです。最高のプログラムによる、最高のコンサートになると思いますので、一緒に楽しみましょう！

## あのエマニュエル・パユも絶賛！

エドガー・モローは卓越した芸術家で、チェロ奏者として信じられないほどの技量の持ち主ですね。声のように操られた楽器から、ありあまる才能がほとばしり出てくる。その若さと少年のような風貌からは想像がつかないほど、芸術家として成熟を遂げていて、室内楽で共演する場はもちろんのこと、彼のソロを聴く機会を私はいつも楽しみにしています。

コロネットインフォメーション7月号インタビューより

© Josef Fischmaller licensed to EMI Classics



## EDGAR MOREAU エドガー・モロー



©Julien Mignot

1994年パリ生まれ。4歳でチェロを始める。2008年から13年までパリ国立高等音楽院でP.ミュレルに師事。現在はドイツのクロンベルク・アカデミーでF.ヘルメルソンに師事し研鑽を積んでいる。2009年ロストロポーヴィチ国際チェロ・コンクールにおける「最も将来性のある若手奏者」賞、11年国際チャイコフスキー・コンクール第2位および現代作品最優秀演奏家賞、14年ヤング・コンサート・アーティスト国際オーディション第1位を受賞。これまでにK.ベンデレッキ、V.ゲルギエフ、T.ソヒエフ、J-C.カサドシュ、N.ズナイダーをはじめとする指揮者、マリンスキー管、フランス国立管、トゥールーズ・キャピトル国立管、サンクトペテルブルク・フィル、スイス・ロマンド管等のオーケストラと共演。2014年デビュー・アルバム「プレイ」を、15年には「ジョヴィンチェロ〜バロック協奏曲集」をリリース、日本ではワーナー・クラシックス“ライジング・スターズ”の一人として15年12月にデビュー。演奏楽器は1711年ダヴィッド・テヒラー製チェロ。